



2024年2月19日(月)

株式会社ゼスト

遠藤航が「令和6年能登半島地震」へ義援金寄付 1000万円を石川県サッカー協会へ

プレミアリーグの名門リヴァプールでプレーをしながら、サッカー日本代表キャプテンを務める遠藤航が、2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」への義援金寄付いたしましたのでお知らせいたします。



遠藤は「石川県サッカー協会」宛に義援金寄付。今回の寄付に関しまして「まだまだ復興には時間がかかるとうかがい、これからも支援の輪が広がるきっかけとなればと思います。皆さまが少しでも早く元の生活に戻れることを願うばかりですが、子供達が伸び伸びとサッカーを楽しめる環境が整うことも願っています」と、復興への想いを寄せています。

また、寄付先に「石川県サッカー協会」を選んだ理由としましては「アジアカップ中から、被災地のサッカー関係者に被害の状況などを聞いていた中で、被災地全体には支援金が多く届いていると感じ、より自分の立場での支援を考えた時、サッカーに絞った支援を決定しました」とコメント。

改めまして「令和6年能登半島地震」において亡くなられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興を心からお祈りしております。

【遠藤航 コメント】

この度、石川県サッカー協会に寄付をさせていただきました。まだまだ復興には時間がかかるとうかがい、これからも支援の輪が広がるきっかけとなればと思います。皆さまが少しでも早く元の生活に戻れることを願うばかりですが、子供達が伸び伸びとサッカーを楽しめる環境が整うことも願っています。

(寄付に至った経緯としましては) アジアカップ中から、被災地のサッカー関係者に被害の状況などを聞いていた中で、被災地全体には支援金が多く届いていると感じ、より自分の立場での支援を考えた時、サッカーに絞った支援を決定しました。

□遠藤航 (えんどう わたる)

1993年2月9日生まれ。神奈川県出身。

2010年に当時所属していた湘南ベルマーレから2種登録選手としてJリーグデビュー。

その後、同クラブに6シーズンに渡って在籍後、浦和レッズに活躍の場を移す。

2015年には活躍が評価されて、日本A代表に初選出される。

ポジションはディフェンダーや守備的ミッドフィールダーであり、2018年には中盤を支える選手として、ロシアワールドカップにもメンバー入りを果たした。同年、ベルギーの1部リーグである、ジュビラー・プロ・リーグのシント＝トロイデンVVに移籍。その後、ドイツブンデスリーガ『VfBシュトゥットガルト』にてプレー。在籍中は2年連続デュエル王を獲得すると共にチームのキャプテンも務めた。

現在はサッカー日本代表キャプテンを務める一方で、2023年8月プレミアリーグの名門『リヴァプール』へ電撃移籍を果たす。

【Official HP】<https://www.wataruendo.com/>

【X】<https://twitter.com/wataru0209>

【Instagram】<https://www.instagram.com/endowataru/>

【Ameba Blog】<https://ameblo.jp/wataru-endo/>